

## 第7回 奈井江町まちづくり町民委員会 議事録（要旨）

【日 時】 平成22年11月15日（月） 午後6:00～午後7時50分

【場 所】 役場（大会議室）

【出席者】 委員～11名（欠席4名） 町～11名

委員	中野忠雄	○	遠藤共子	○	廣部健二	×	須崎正寿	×	山口俊哉	○
	鈴木孝一	×	岡本克也	○	佐藤憲弘	○	山 節子	○	横尾良昭	○
	稲垣直樹	×	森本由利江	○	佐々木勝幸	○	明石伸子	○	岩口直樹	○
町	北町長、三本副町長、村上教育長、岩口おもいやり課長、小澤健康ふれあい課長 鈴木教育次長 事務局：碓井課長、石川主幹、相澤係長、都築主事、高橋主事									

### 1. 開会 碓井課長

### 2. 中野委員長 挨拶

寒い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

今年の夏は連日、暑い日が続きましたが、昨年より収量が落ちました。品質的には十分、美味しいお米ができましたが、前年の余ったお米や道外の品質が悪く単価が安い米がどんどん放出され、米の値段が下がりました。「ゆめぴりか」は粘りがあって味が良い。大変美味しいので、本州米よりも北海道米を食べてもらいたいです。

飛躍しますが、行政とかの仕事を見ますと住宅にお金回ったり、我々に都合のいいものがいっぱい出て、そういうものに慣らされ、何が一番大事なのか忘れてしまいます。教育とか福祉に使い、あるところは我慢し、ピンポイントで使うとかそういう政策を目指すことが幸せなのかと思います。

今日は、これから、子育て支援策について担当課長から説明がございまして。みなさまのご協力お願いいたします。

### 3. 町政運営等に関する主な動向について（北町長より）

TPP（環 太平洋 連携協定）ということで、大変な心配をしておられると思いますが、先日、消費者団体や作家の方など、多方面の方が集まった道の農業農村審議会があり、その中でTPPが、農業ばかりでなく地域経済を壊滅状態にすると提言しています。空知だけでも1兆3千億円、雇用で12千人減と影響は大きく、今の（カロリーベースの）自給率40%が、14%に下がります。我々も、国に対して言うべきことは、申し出なければなりません。9日には、千人規模で岩見沢市の東山公園・野外会場に集結し「TPP 交渉対策 及び米対策に係る空知農民緊急集会・デモ」を行いました。

もう1つは、エゾシカの被害についてです。

全道の被害額が50億8千2百万円、空知でも1億6千8百万円という状況で、北海道農村農業振興計画の中で、エゾシカによる農業被害防止対策、個体数の削減など、地域で行う駆除活動の取り組みを総合的に支援するとの説明を受けました。北海道には、エゾシカが64万頭いるそうですが、適正頭数は9万頭ということでした。出席者の中には動物愛護の観点から、「シカといえども生命を大切するべきだ」という人もいましたので、どれだけ農作物の被害が

でているかなど、森林保全の視点も含め、道民に正しい情報をわかり易く知らせ、情報を共有してほしいという話をしました。

2年に1回、開催をしている町政懇談会ですが、8月11日～9月8日まで、11ヶ所の会場で開催をさせていただきました。今回も大変有意義なお話を伺うことができましたので、持ち帰った皆さんの意見を精査し、できるものから順次、取り組んで行きたいと考えています。

町立病院と砂川市立病院とで交わしておりました医療連携協定ですが、新病院への移行にともない、「医療情報の共有やIT化」「認知症の支援対策」など、連携内容の強化を図って、9月2日、新たに調印を行いました。先月28日には、新病院がオープンし、私も朝7時半に行われたオープン・セレモニーに出席して、テープカットに参加してきました。

次に町立病院についてですが、来年の4月から、過去に町立病院に勤務経験がある41歳の新しい内科の先生を迎えることになりました。全国的に医師の確保に苦慮している中、奈井江町に定着していただけるということですので、大変嬉しく思っております。

町内の米の状況について、ふれたいと思います。

10月15日現在での作況指数は、全国98、北海道98、北空知94。分けつ期の高温による株数の減少、いもち病の発生、登熟期の高温による乳白米の発生により、収量と品質ともに平年を下回る結果となりましたが、「ゆめぴりか」は低タンパク米(6.8%以下)の割合が、近隣と比較しても突出して高く、安定的に高品質米を生産できる農業者の努力と高い技術が、証明されました。

また、米の品質を維持し、安定的な出荷を行うため、利雪型倉庫の建設について準備を進めて参りましたが現在、基礎の工事を行っているところです。工期は来年1月末で、3月上旬頃までに貯雪庫への雪投入を行う予定です。

農業や商業の担い手の育成が町の大きな課題と捉え、本人主体の問題ではありますが、結婚活動の支援に取り組んでいます。現在10数名の方が登録をしていますが、いきなり「婚活パーティーを」といっても、服装だとか、会話の話題だとか、なかなか難しいところもあるようですから、今年度中にコミュニケーション研修のようなものを企画したいと考えています。

最後に国の補正予算に於ける経済対策ですが、現在のところ、まだ詳細は示されておりません。本町に於いては、奈井江町の現状を反映した意義ある活用ができるよう、関係機関と十分相談しながら進めて行きたいと考えています。

さて本日は、前回に引き続き、子育て支援策について議題としたところですが、より深い議論を行おうとの趣旨から、担当課長にも出席をさせ、皆さんと意見交換をして参りたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

#### 4. 議題

- (1) 子育て支援策について 相澤係長より資料等の内容について説明

- (町民委員) 支援センターに来てもらえない家の中で閉じこもっているという親子が、いるのかいないのか、聞いてみたいのですが。
- (小澤課長) お子さんが生まれたときに保健師が、また子育て支援センターの教育指導など、指導をしたり相談を活用していただいています。また、個人情報に気を配りながら、“支援センターではこういったことをやっていますよ”と保健センターでも紹介をさせていただきながら、情報や実態の把握に努めています。
- (町民委員) 子育て支援センターという良い建物が出来て、親子で利用してもらうことが大事だと思うので、保育所と連携をとって支援センターの子どもたちが歌や芸など、1つでも出させてあげることが出来ないでしょうか。
- (町民委員) 資料の子育てハンドブックに「階層区分により…」と書いていたり、“幼児”とか“児童”とかの用語がたくさん出てきますが、どういったことが該当するのか説明があったり、保健センターとか図書館、児童館が分かりづらいので、全体がわかるような地図も加えたら良いと思います。
- それから、保育所や学童保育は夜6時まで受け入れているのでしょうか。
- 図書館の横に幼児室があってカーペット敷きになっているので、靴を脱いで少しはしゃいでも大丈夫なように出来ているので、「小さくて静かにしてられない子どもたちが来ても大丈夫ですよ」と書いてあるといいですね。
- (岩口課長) 保育時間は、昔は5時まででしたが、今は6時までです。
- また、学童保育は、基本は小学3年生までなのですが、定員に満たなければ学年を上げてもいいということになっています。4年生、5年生でも大丈夫です。
- (鈴木次長) 図書館の幼児室は、幼児が自由に使えるようにもう少しわかりやすく記載したいと思います。
- (相澤係長) このハンドブックはまだ、作成段階ということで地図はついていませんが、完成のときには付く予定と聞いています。
- (町民委員) 保育所で今6時まで見てもらっていますが、保護者の話を聞くと町外で働く人は、お迎えがギリギリになってしまう。子育て支援策として30分、有料でも時間を伸ばしてくれるなら、喜ばれるのではないですか。
- (岩口課長) 奈井江町だけではなく、浦臼町のお子様も受け入れをしまして、配慮する必要があるのではないかと考えております。検討していきたいと思います。
- (町民委員) 先生たちに申し訳ないので、有料でお願いできないかと思いました。
- (町民委員) 児童館は利用されているのですか。お友だちが出来ないとか、人間関係が上手くいかないとかだと社会人になってから大変です。勉強とか学校よりも、お友だちの不安が多いのが心配です。
- (町民委員) 児童館の委員をしています。大雑把に言うと児童館の開館日数は300日ぐらいあって、4千人ぐらいの利用者がいます。1日15人で普通です。7～8年前なら、その倍くらい、30人くらいが普通でした。
- 1人で来た子が、仲間に入れてないかということはないと思いますが、逆に児童館にもお友だちの家に行って遊ぶこともしないで、家にいるような子がいるかもしれないという点で、友だち関係で心配はあるかもしれないで

すね。児童館に来ている子の中にはドッジボールで当てられてばかりの子もいますけど、うまく遊んでいる感じはします。

児童館は今、5時までなのですが、「5月～10月、小学生は6時になったら家に帰りましょう」と言っています。外に出ていて良い時間だけは、児童館が開いていて遊べたらいいなとすごく感じています。

(岩口課長) 子どもたちの遊びの場、情報交換の場でもありますので、5時がいいのか6時がいいのか議論するところがあると思いますが、利用状況としてはそういったところですよ。

(町民委員) 児童館の中で遊ぶとなると異学年の交流があって非常に良いのですが、なかなか児童館に行く手段がないんです。6年生なら自分で行けますが、1年生の足だとなかなか行けない。

児童館もゲームを持っていったいいのですか。

(町民委員) はい、禁止していません。カードもゲームもOKです。

(町民委員) 公園でも遊んでいる子はいるのですが、公園でゲームをしているというような状況があるので、これは何か変えないといけないのですが、答えはでなくて、今の子ども達の現状なのかなと思います。

(町民委員) 児童館でずっとゲームをやっている子はいないんですよ。30分くらい遊戯室でドッジボールをして、一汗かくとカードゲームしたり、通信ゲームをしたり、本を読んだり。この頃、南町の方では、5～6年生を中心に将棋だとかチェスとか、ボードゲームって言うんですか、学校でも流行っているということです。ゲームをしっぱなしという子はほとんどいなく、自分たちで切り替えて遊んでいます。

(町民委員) テレビゲームが出てこの方、ゲームを持っている子の家ばかり遊びに行くようになるから、親も悩んで痺れを切らして買ってしまう。

(町民委員) 「皆が持っている」と子どもに言われて、与えてしまうというのがあります。

(町民委員) 携帯電話もそうですよね。これだけ普及していればとめるわけにもいかないですよ。

(町民委員) 先ほどゲームの話をしていましたが、私の孫はゲームをしないのです。地域や周りの人たちが、アドバイスなどを言ってみると子どもは自分で気づくのではないですか。

(町民委員) 地域でスポーツ大会などやって競争心をあおって、スポーツの盛んな町にして子どもたちが、スポーツを通して外で遊ぶことをしたらいいのではないですか。

(鈴木次長) こんな行事をしていますと提案させていただいておりますが、さらにPRして、そういう子が少なくなるように努力したいと思います。

(町民委員) 僕はゲームの悪い弊害を最初に受けた年代(笑)でしたが、テレビ1台で3～4人で遊ぶゲームをしていました。ゲームをしているから友だちが出来ないということではなくて、ゲームを1～2時間してから、児童館や釣りに行くとか、サイクリングも普通にしていました。僕らの時代は悪いと言われつつも、コミュニケーション取れていました。

(町民委員) 会社で職場懇談会があり、託児所を作ってほしいという意見が出ました。会社で託児所を作ることはできないと思いますので、7～8人だと思っておりますが、どこかに委託するかなど、正式に社員から出てくれば、考えなくてはいけません。

ん。 “てつなぎ” というのは、大きな組織なんですか。

(岩口課長) てつなぎさんは、チューオースーパーさんの向かいにあり、朝 8 時～5 時までですが、時間延長ができ、一時保育もあります。対象年齢は 3 カ月～10 歳までです。最近出来たところですが、私どもも応援してあげたいと思っています。

(町民委員) 「ミート・ウィズ」はどれくらい進んでいるのか、いつごろ実施するのか教えてください。また、参加年齢を 40 歳くらいまでにするのは、という話を聞きましたがどうなのでしょう。こういうことは、本当は自分らで何とかしなければならぬのだけど出来ていないわけで、奈井江でも親切心でやっているの嬉しいです。

(北町長) 出来たばかりです。私のほか、農協の組合長さんや農業委員会、商工会の会長さん。そして、など、幅広くいろいろな人との付き合いがある、酪農大学の教授にも参加をしていただきました。

年齢のボーダーラインは設けていません。今、13 人が登録していますが、チャンスを作る環境に恵まれていないということなので、そういう機会を作ることが、我々の仕事だろうと思いますが、町内だけではなかなか難しいので、情報を交換し合い、紹介いただくなどをしていきたいと思っています。

新聞に集団お見合いの記事がありましたが、観光目的で来る人も多く、実らないそうです。

(町民委員) 会社に案内書が来て社内広報しようと思いましたが、プライバシーは守られるのでしょうか。

(北町長) 結婚はしたいが、個人情報漏れることを嫌がりますね。当たり前の話ですが、秘密を守りながら、縁の下の力持ち、そういう環境を作っていくということが、非常に大事ではないでしょうか。ご協力いただきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

(町民委員) これだけはよその町に負けないというような事業がありますか。

(小澤課長) すこやか健診が、まさしく誇れる事業です。平成 15 年からスタートし、小学校 3 年生から高校生までを対象とした健診です。今、生活習慣病の問題があり、一早くお子様の健診事業を行っています。

併せて、この結果に基づく健康教室を開くなど、住民の方々にもお力添えをいただいて一緒にお子さんの健康づくりに関与していただくほか、学校にも協力をいただいて学校内で健診事業を実施しています。他の町では、やっていないと思います。

(北町長) 奈井江町が始めたもので、評価も高く、去年、全国表彰されました。

(町民委員) 6 千人規模の町で、児童館が 3 つもあるところは、道内にはないと思います。

(町民委員) 自分が振り返ったときに病気の子どもでも預かってもらえるシステムがあればいいと思います。

1 年生になる前の、年長さんのときの幼児教育の強化をしてください。準備が出来ていない子どもたちが多いのではないですか。

(北町長) 意見として聞きますが、なかなか非常に難しいことです。

- (町民委員) 幼稚園と保育所の幼保の統一みたいなこと、これから先の話なのでしょうけど奈井江町は私立の幼稚園ですが、どんな形で考えているのですか。
- (碓井課長) 来年の通常国会でそういった法律の改正案を検討していきたいという国の考えはありますが、目指すところは平成 25 年ということのようです。国の考えは、待機児童の問題があって、これは都会の話だと思いますが、保育所は待機児童だらけで足りないが、幼稚園は少子化で定員割れというのでアンバランスではないか、というのが国の考えらしいです。
- (町民委員) 妻が昔、看護師をしていて、知人から子どもの医療のことで相談の電話がありました。ホットラインを設けたらどうでしょうか。
- (小澤課長) 日中でしたら保健センターの方で保健師が対応いたしますが、夜間はどうしたらいいのか。町立病院は救急体制をとっており、看護師もいますが、この課題について、検討していきたいと思います。
- (町民委員) 親子クッキング教室は、小学生まで伸ばしたらどうですか。
- (小澤課長) すこやか健診での事業は未就学の子が対象ですが、別に小学生までの親子クッキング教室もやっております。
- (町民委員) インフルエンザの予防接種で、子どもの 2 回目の接種費用はどうしてますか。
- (小澤課長) 13 歳未満の子には 2 回接種が必要で、1 回目 3 千円、2 回目千円ですが、町が助成して自己負担は併せて 2 千円にしています。
- (北町長) 私の公約ですが、今行っている小学生までの医療費助成を中学生までにしたいと考えています。子宮頸がんワクチンについても国が半分負担し、残りの半分以上を町が負担して無料にする。ご理解をいただきたいと考えています。

## 5. 閉 会